

さいたまシルバー



迎春



跨線橋駅化した七里駅
と新設された北口

Content

- 2 理事長挨拶
- 3 市長挨拶
- 4 上半期事業実績
- 5 講習・研修
- 8 会員紹介
- 9 お客様の声
- 11 地域班
- 12 親睦互助会
- 14 女子会だより
- 15 安全だより
- 16 事務局より・編集後記

公益社団法人 **さいたま市シルバー人材センター**
 〒330-0801
 埼玉県さいたま市大宮区土手町 1 丁目 213 番地 1
 さいたま市大宮ふれあい福祉センター 内
 Tel: 048-669-0303
 Fax: 048-669-0305

<https://saitama-sjc.or.jp/>

さいたま市シルバー

検索





新年のご挨拶

公益社団法人

さいたま市シルバー人材センター
理事長 佐伯 鋼兵

新年、明けましておめでとうございます。
会員の皆様並びに、センター事業に広く
ご支援・ご協力を賜っております関係者の
皆様方におかれましては、健やかに新年を
お迎えのこととお慶び申し上げます。

平素から、センター事業につきまして多
大なるご尽力とご協力を賜り厚くお礼を申
申し上げます。

さて、我が国では、人口の減少や少子高齢
化が進展し、地域社会の担い手として、シル
バー人材センターへの期待は、ますます大
きなものとなっています。

一方で上半期の会員数は前年比 105 人減
となりましたが、女性会員は増加いたしま
した。全国的にも会員数が伸び悩んでいる
ため、全国シルバー人材センター事業協会
(以下、全シ協)においては引き続き会員拡
大を核に据えて、80 歳を超えても活躍で
きる就業環境の整備等を重点にセンター及び
連合本部への支援に努めるとしています。

こうした中、昨年、全シ協主催による
“シルボンヌ全国大会”がさいたま市内の
会場で開催されました。市民はもちろんで
すが、全国からはつらつとした多くの女性
会員が結集し、「満員御礼!」、盛会のうちに
終了したと聞いております。これにあやか
るべく、当センターにおいても女性会員を

さらに拡大してまいります。

また、令和 6 年 11 月にフリーランス法が
施行され、センター会員の請負・委任での就
業がフリーランスに該当するということから、
会員の皆さまは、フリーランス法の保護
を受け、より安心・安全に就業する環境が確
保されることになりました。

そうしたことから、就業条件のほか、配分
金明細やセンター情報等を速やかに取得す
ることができるよう、会員向け専用サイト
“Smile to Smile”への登録を推進してま
いりました。引き続き登録者数を増やし、会
員とセンター、双方のデジタル化を推進し
てまいります。

さらに、会員の高年齢化や重篤事故の発
生状況を踏まえ“安全はすべてに優先する”
ことを会員一人ひとりが再認識するため、
安全就業の徹底に向けた取り組みを強化し
てまいります。

会員の皆様、関係各位におかれましては、
引き続きご支援、ご協力を賜りますよう心
よりお願い申し上げます。

結びになりますが、会員の皆様ならびに
ご家族の皆様のご健勝とご活躍を願い、ま
た新しい年が皆様にとって幸多き素晴らし
い一年となりますことを祈念し、年頭のご
挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

さいたま市長 清水 勇人

新年、明けましておめでとうございます。
 シルバー人材センター会員の皆様をはじめ、関係者の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。また、日頃からシルバー人材センターの皆様方には、市政全般にわたる格別のご協力とご支援を賜り、感謝と御礼を申し上げます。

さて、本市の高齢者人口は増加の一途をたどっており、高齢化率は、全国と比較すると低い状況ではありますが、いわゆる「団塊の世代」が全て75歳以上となる本年には高齢化率23.9%、後期高齢者の割合が14.2%へ増加することが見込まれています。さらに「団塊ジュニア」と呼ばれる世代が65歳以上を迎える令和22(2040)年には、高齢者人口が40万人を超え、高齢化率も29.6%と、市民のほぼ3人に1人が高齢者という状況に直面することになります。

高齢者やその家族における医療・介護・生活支援に対するニーズは、量・質の両面において、ますます増大・多様化していくことが見込まれており、こうした中、本市の活力を維持、発展させていくためには、元気な高齢者が、地域づくりをはじめとした、より幅広い分野で活躍することで、支え合いの環境づくりの一翼を担っていただくことが非常に重要です。

本市においては、「介護予防・重度化防止の推進」、「セカンドライフの充実」、「地域の支え合いによる生活支援の体制整備」、「総合的な認知症施策の推進」の4つの重点施策を推進し、誰もが生き生きと、長生きして暮らせるまちづくりを進めてまいります。

シルバー人材センターにおかれましては、「はたらく場」、「まなびの場」としてだけでなく、「つどいの場」としての充実にも積極的に取り組んでおられることと存じます。そして会員の皆様にはシルバー人材センターでの活動を通して、これまで培ってこられた豊かな経験や知識・能力を発揮し、地域づくり、居場所づくりに貢献していただくことを期待しています。高齢者の方々がいきがいをもって活躍し、本市の活力の源となり、そして支え合いの環境づくりの輪が広がるよう、引き続きお力添えいただきますようお願い申し上げます。

結びになりますが、新しい年が会員の皆様方にとって健康で幸多き素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げますとともに、シルバー人材センターの益々の発展をご祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和6年度上半期事業実績

令和6年度上半期事業実績は次のグラフのとおりです。青が前年度、オレンジ色が当年度のグラフです。

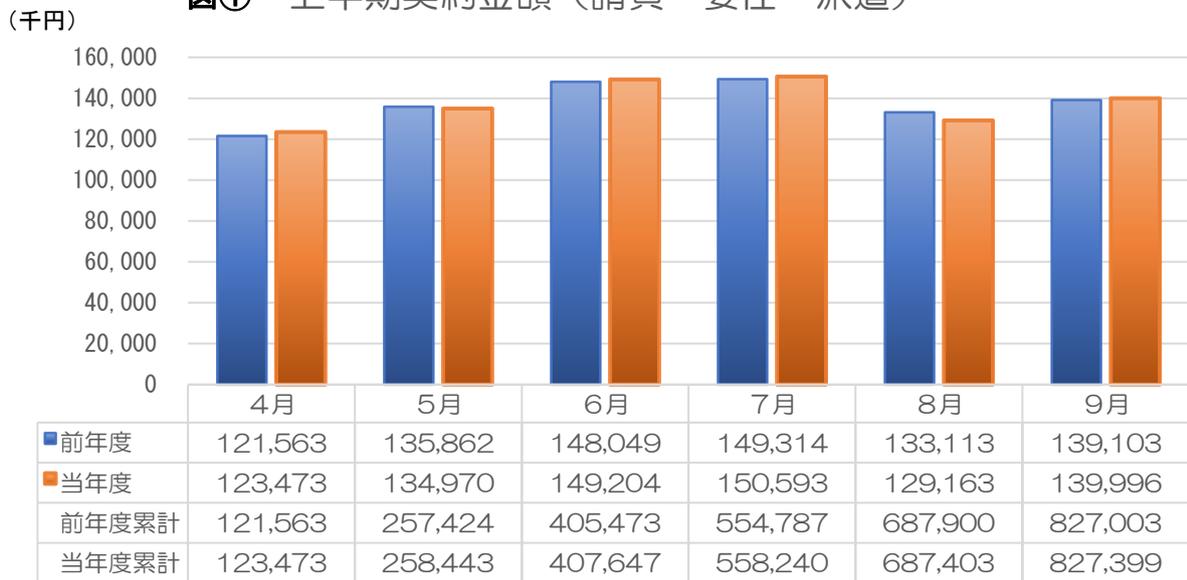
契約金額は9月までの累計が8億2,739万9,407円、前年比は100.05%でほぼ横ばいとなっています(図①)。

月別に見ますと8月は約400万円減となっており、記録的な猛暑のため、植木剪

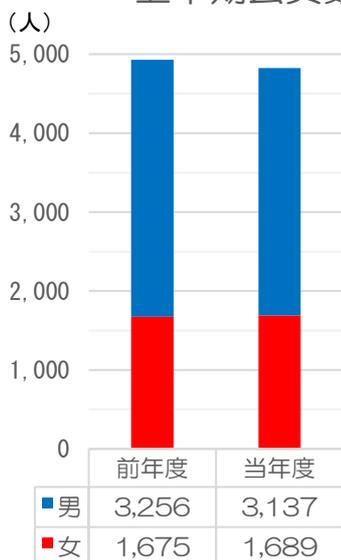
定作業、除草作業を控えたものです。

会員数は前年比ですと105人減となっていますが、全体では減少している中、女性会員数は14人増となりました(図②)。これにより女性会員比率は35%となり、過去最高の割合となっています。(図③)

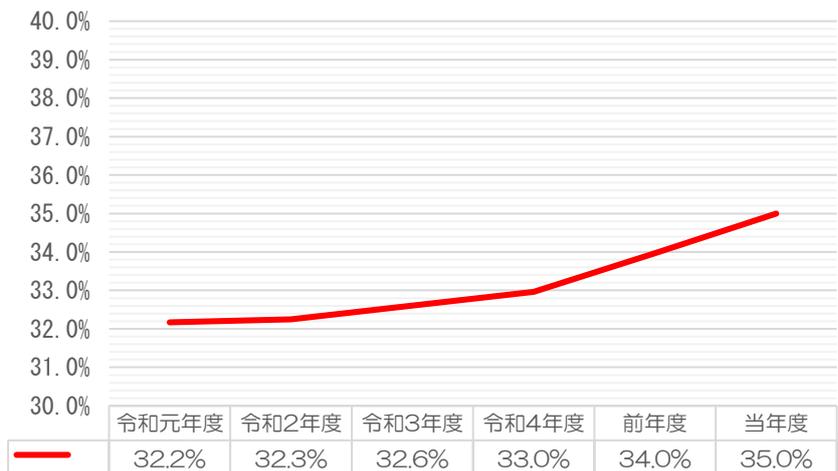
図① 上半期契約金額(請負・委任・派遣)



図② 上半期会員数



図③ 上半期女性会員比率



各種講習・研修

次のような講習や研修を、令和6年に実施しました。

会員講習・研修

当センター主催の会員を対象とした技能及び資質向上を図る講習や研修です。

① コンプライアンス研修

1月24日 13人参加
会場・浦和ふれあい館

② 高齢者自転車交通安全講習

1月31日 35人参加
会場・大宮事務所
10月30日 48人参加
会場・与野本町コミュニティセンター



③ 高齢者自動車安全運転講習

11月28日 48人参加
会場・にぎわい交流館いわつき

④ フレイル予防体操教室

2月14日 18人参加
会場・浦和ふれあい館



⑤ 健康体操研修

12月3日 27人参加
会場・プラザイースト

⑥ 植木（松）剪定講習

3月11日 27人参加
会場・市内小学校



⑦ 接遇研修

3月19日 27人参加
9月9日 34人参加
会場・浦和ふれあい館

⑧ 植木安全就業研修

3月25日 26人参加
会場・大宮ふれあい福祉センター

⑨ 安全刈払機取扱い研修

7月26日 17人参加
7月31日 22人参加
会場・にぎわい交流館いわつき
七里総合公園



⑩ アンダーマネジメント研修

10月22日 30人参加
会場・大宮事務所

⑪ 危険予知訓練講習

8月29日 34人参加
会場・浦和ふれあい館



⑫ モチベーション向上研修

10月16日 28人参加
会場・にぎわい交流館いわつき

⑬ 救命講習

9月11日 25人参加
会場・大宮事務所
9月24日 17人参加
会場・与野本町コミュニティセンター



⑭ スマートフォン教室

10月23日 17人参加
会場・大宮事務所
10月24日 8人参加
会場・浦和事務所
11月22日 12人参加
会場・浦和事務所

⑮ パソコン講習

エクセル入門
2月5～7日 11人参加
会場・大宮事務所

ワード入門
9月4～6日 3人参加
会場・大宮事務所

初めてのパソコン
10月22～24日 4人参加
会場・与野事務所

エクセル入門
11月19～21日 4人参加
会場・与野事務所

市民向け研修

当センター主催の一般市民向けの研修です。今年度は初の試みとして修了式後に入会説明会を実施し積極的に植木剪定に従事する会員の確保に努めました。

植木職人養成研修 39人参加
座学 6月14日
会場・浦和ふれあい館
実技 6月17日、24日
会場・障害者交流センター
修了式 7月4日
会場・浦和ふれあい館



高齢者生きがい活動 センターの講習・研修

さいたま市シルバー人材センターが指定管理者として管理している高齢者生きがい活動センターの事業です。

さいたま市内の高齢者に対し、各種研修及び技術指導を行うことにより、就労の支援や地域活動を援助します。

会場は全て高齢者生きがい活動センターです。

① スマートフォン教室

2月9日 18人参加

② 障子張り講習

2月26日 10人参加



③ 筆耕講習「写経書き」

3月5、6、12、15日 16人参加



④ 傾聴ボランティアスキルアップ講座

6月26日、7月2、4日 31人参加
11月18日 22人参加

⑤ 傾聴ボランティア養成講座

9月24、27、30日、
10月2、4、7、9、18日 34人参加



⑥ パソコン講習

ワード入門

1月24～26日 10人参加

パワーポイント入門

2月26～28日 9人参加

初めてのパソコン

6月4～6日 8人参加

ワード入門

7月29～31日 13人参加

パワーポイント入門

8月6～8日 11人参加

エクセル入門

10月29～31日 11人参加

初めてのパソコン

11月6～8日 14人参加

エクセル入門

12月4～6日 7人参加



いつも新しい世界を求めて

中森絵美子さんは、20 数年勤めた個別学習塾の講師を辞める時、今までとは別の世界を求めて、独学で「宅地建物取引士」取得に挑戦しました。国・数・英・社とは全く違った世界で新鮮に感じました。合格して大変嬉しかったそうです。と同時に塾の生徒たちの気持ちが理解できたような気がしましたと苦笑していました。

新たな世界を求めてシルバー人材センターに入会しました。最初のお仕事は、ある会社で裁断、仕分けといった軽作業でした。作業は簡単ですが、お友達と分業することや小さな工夫が効率よい仕事に繋がる新しい経験をしました。

現在は、^{しもちょう}下町で学習教室の講師をしています。ここでは画一的な指導ではなく、生徒の環境に応じたカリキュラムを作成して、家庭的な雰囲気での学習を進めています。

会 員 紹 介

大宮会員 中森 絵美子 さん

また、本部で新たに発足した「デジタル化推進プロジェクトチーム」のメンバーとして



活動しており、センターと会員をつなぐ会員向け専用サイト「Smile to Smile」の登録をサポートしています。コロナ禍の学習塾で、タブレット利用や画像通信を利用した遠隔授業などの経験が生かしたら良いなと思っています。

趣味は美術館・博物館巡りだそうです。話題に上がる美術館などが専門的で、ディープな世界を漂っているとお見受けしました。還暦からピアノを始めたそうです。夢は街角ピアノで演奏することだとか。新たな世界への出発です。
(取材・後藤編集委員)

温かみのある

理想のご夫妻

2019年6月に定年を迎えられ、永年就業されていた建設業界を退職されたとの事です。その後、奥様が市報を見て、ご主人にお話しをされ、その年の10月の説明会にご夫妻で参加され、会員となられたそうです。

明美さんは家事援助などを希望していたので、当初から現在までご主人と就業場所は異なっているそうです。

圭伸さんは「美園にある商業施設のテナントで清掃業務の募集があるとの紹介を受けました。以前からその施設の中にあるスポーツジムに通っていたこともあり即決しました」と言われました。

現在は同じ地域にある商業施設でカートの管理と整理の仕事に携わって4年になり、今年の4月からは責任者として「9名の作業ローテーション表を作成している」と言われました。

会 員 紹 介

浦和会員 ^{たかなぎ}高柳 ^{よしのぶ}圭伸・明美さんご夫妻

内容は「週3回で平日は3人で3時間 土日祝日は6名で4時間。就業時間は、10時～14時まで2名 11時～15時まで1名 14時～18時まで1名、15時～19時まで1名 16時～20時（閉店）まで1名」と細かく作成されています。



健康面では、平均1万歩～1万5千歩のウォーキング、趣味は料理作り（家事は奥様と1週間交代）、前職で東南アジア・アフリカ等技術指導の為、家族同伴で海外駐在も多かったことから今でも旅行は海外（最近は一人）へ行かれるそうです。

お二人のお話を伺っていると、お互いに思いやりと感謝している気持ちが伝わってきます。
(取材・吉川編集委員)

公民館窓口業務で活躍する はつらつ女性リーダー

岩槻城址公民館で窓口業務に就業している中村さんにお話を伺いました。公務員を定年になり仕事をしていませんでしたが、コミュニティセンターで就業している会員からの勧めで令和元年に会員になられたそうです。会員ニュースの就業情報で岩槻城址公民館の募集があり、何度か応募して念願の就業が叶ったとのことでした。

現在は、リーダーを任せられ、5人のメンバーの就業日程のスケジュール作成、新入会員への研修、公民館職員との円滑なコミュニケーションなど、責任者としての就業ぶりを伺い知ることが出来ました。

また、苦勞することは、職員不在時の就業なので行政に関する問合せなど即時に対応が出来ないことです。一方、嬉しいことは、利用する団体さんから色々なことで、「助かりま

す」「良かったです」「ありがとうございました」などの声を頂けることだと笑顔で話していたのがとても印象的でした。

とにかく、明るく、きめ細やかに笑顔を絶やさず地域の皆さんとのコミュニティを大切に就業ぶりは素晴らしいと感じました。

就業にはご主人の理解もあり、家族の食事でも栄養が偏らないよう気を付けているとのこと。

趣味は、洋裁、クラシック音楽、落語を聞きに行くなど多彩のようです。

今後の益々の活躍をご期待します。

(取材・小松編集委員)

会 員 紹 介

岩槻会員 中村 啓子 さん



私は愛されています

襟に MIDORI の刺繍があるジャージ姿で高崎仁志副園長が取材に応じて頂きました。園児達と触れ合うのにはこの格好が一番似合っているとニコリされていました。

180 人もの園児が集うこの幼稚園は、カトリックの教育観に基づき、子ども達一人ひとりが先生に、親に、友達に、諸々に愛されていると感じることが出来るような保育を心掛けています。常に一緒に学び、遊び、泣き笑いして寄り添うようにしています。園児達の状況を把握する為、降園後に毎日職員会議を開いています。自分の担任だけでなく、全園児の情報を職員全員が共有する為です。どんなに忙しくてもこの会議は欠かせないそうです。

幼稚園は産業道路に面して建てられており、一日中交通量が多い所です。特に朝夕の登・降園時間帯には、園正面の狭い道に園児

お 客 様 の 声

カトリックみどり幼稚園 様

・保護者や自転車、通過車両などが集中し大混雑です。そんな中で二人の男性がテキパキと声



掛けし流れを誘導しています。園への不審者の侵入などに対する注意も怠りません。二人はシルバーの会員さんで園児・保護者への声かけ業務として就業されています。言葉遣いや対応が丁寧で、職員、保護者からの信頼は勿論、園児からも慕われています。

高崎副園長は二人の仕事に対する心構えを絶賛されていました。このような穏やかな大人になるには、幼児期にできる限り愛情を注ぐべきだと、自身の教育観を熱く語ってくれました。

(取材・後藤編集委員)

シルバーに依頼して24年 今年から派遣も！

さいたま市中央区桜丘に本社のある北上工機株式会社の安部知幸社長にお話を伺いました。同社は、精密機械部品・大型産業部品の製造加工を行い、重機械工業、自動車産業、半導体・液晶装置の分野などで豊富な実績を重ねています。

シルバーへの依頼内容は、本社事務所の清掃業務を中心に、工場の洗面・トイレの清掃など「社員にできないことをやってもらっている」そうです。シフトは1名で週2回（火と金）9:00～12:00の就業となっています。「見ているわけではないが、決まったことを決まったようにやってくれている」とのこと。さらに、さいたま市西区にある同社の大宮工場でも同様の依頼をされているそうです。

シルバーへの依頼は2000年12月からなので、今年で24年目となります。「シルバーへ

の依頼は今後も継続していく予定です。ただ長年なので、やめていったり、人が変わったりもしました。だ

から、来た人次第という面もありますね。いろいろな人が来ましたが…社員教育をするわけにもいきませんから」。

また今年から、シルバーからの派遣もはじめられたそうです。社員退社があったため、事務作業を行う女性1人が勤務しています。

同社は、今年で創業50周年を迎えました。ちなみに岩手県北上市には岩手工場もあります。これは、現社長の父親である創業者の出身地だから。創業者は就職で埼玉に来て、技術を身に付けて、現在地で独立されたのです。（取材・小野塚編集委員）

お客様の声

北上工機株式会社 様



「うれしい!」「おいしい!」「たのしい!」 と感じるにぎわい交流館をめざして!

さいたま市岩槻区本町にある岩槻人形博物館と同じ施設内にあります「にぎわい交流館いわつき」の中村館長をお訪ねし、お話を伺いました。

建物は2階建てで、1階部分は、カフェレストラン、交流休憩ルーム。2階は、体験講座を主に使用するクラフトルーム、会議等使用する有料貸出スペースから構成されています。

この交流館のコンセプト、「うれしい!」は、あたらしい知識や新しい人に会うことで新しい喜びを得る場所。「おいしい!」は、岩槻区内の名産品のPRや歴史ある和菓子づくり講習会などを通じて新しい食文化を提供する場所。「たのしい!」は、歴史や文化を学び、地域資源を知る楽しさや区内を巡る楽しさ、そして展示会や製作体験などが開かれる

お客様の声

にぎわい交流館いわつき 様

楽しい場所であり、職員の方々が一丸となって取り組まれていました。

シルバー会員の仕事は、駐車場整

理と体験講座開催時の準備及び支援補助業務が中心で土日祝日の9時30分から15時30分が基本。5人で1日毎の交代制です。

館長からは、「車で来館する方々の親切な案内や受講生に細かい配慮していただいていることに深く感謝いたします。これからもお体を大切に健康ご自愛下さい」とありがたく、うれしいお言葉をいただきました。

今後も末永くシルバーをご利用いただきたいと思います。（取材・小松編集委員）



地域活動としての 傾聴ボランティア

傾聴ボランティアあゆみについてご紹介させていただきます。本活動組織はシルバー人材センター内にあることを御存じない方も多いのではないのでしょうか。

傾聴ボランティアとは一口で申し上げますと、話し相手を求める高齢者等の「お話相手」をすることです。その目的は話をするにより元気になって頂き、そして話を聴かせて頂いた自分自身も元気を貰うことです。我々も高齢者となり同じ地域に住む同士支える地域活動であると考えます。

活動内容はさいたま市内の高齢者施設および個人宅での傾聴です。現在の傾聴ボランティアあゆみの登録者数は 261 名で対応施設は 25 施設および個人宅傾聴も 30 件強です。傾聴あゆみはシルバー人材センター同様に浦

地 域 班

桜区第一地域 斎藤 健

和、与野、大宮、岩槻の各地域分けしており自宅から通える範囲内で原則 1 回 1 時間の対応になります。コロナ禍前に比べ再開している施設は約半分であり施設によってはまだ入館を厳しく制限しているケースも多くあります。しかし今後、各施設も徐々に活動が再開していくことが予想されます。

シルバー会員の皆さん、地域奉仕活動のひとつに考えてはいかがでしょうか。



会員皆さまの協力に感謝

中央区第一地域 永島 正

中央区第一地域の地域長になったのは、令和 6 年 3 月に与野事務所長から依頼を受け承諾したものでした。当初は、軽い気持ちで受けたものの日が経つにつれて、地域長の重責をひしひしと感じてきました。地域班長の経験もない自分にとって、やる事なすことが分からず地域班長の協力を得て何とか 8 カ月間務めてきました。この間、諸先輩方のアドバイスやご指導は、大変貴重なものばかりでした。

地域長としての具体的な仕事は、年間事業計画の策定とそれに伴う多方面への事前調整、地域班長への応援依頼、会員ニュースの配布等様々な業務でした。

自分自身、このまま地域長をやっているか悩んだ時期もありました。今、振り返れば何をするのにも一人ではできない事も他の人の助けを得て達成するものであり感

謝の気持ちを常に持つことを教えられました。

私は、ボケ防止とストレス解消を兼ねたギターを 60 歳から始めて、年間 54 回のライブ演奏をこなした時もありましたが、今は月一回のライブで頑張っています。演奏中は、全てを忘れ集中できることが何よりも楽しいひと時です。

これからの人生を、常に「生きがい」と「やりがい」を持ち続け、残りの人生を悔いの無いようにしていきたいと心がけています。



会員作品展開催

浦和支部では、毎年10月に秋の福祉事業として浦和区の岸町公民館展示室で「会員作品展」を開催しています。令和6年度も10月21日(月)～10月25日(金)の期間で第22回目の作品展を開催いたしました。出展作品は、水彩・油絵絵画、ポートレート・旅行の思い出・トリック写真、水墨画や書、水引工芸・布絵本・パッチワーク・レース編み・毛編み物・バック・ぬいぐるみ等々の手芸品、模型、盆栽、生け花等多岐にわたり、いずれも会員の方々が丹精込めて作られた作品80点余りが出展されました。

いつも感心するのは、作品の出来栄の良さです。趣味の領域を超えた質の高い作品が寄せられ、会員の皆さんの趣味の豊かさに感心させられます。来場者も会員はもとより、岸町公民館を利用されている市民の方々など毎年100人近くが訪れてくれて

浦和支部 畑 佳一朗

います。中には譲ってほしいと申し出る人がいる程で、会員のみならず市民の方からも高い関心を持ってくれる作品展になっています。



楽しいバス旅

9月24日、大宮支部ふれあい会の日帰り旅行に参加した。

バス旅の楽しみのひとつにその土地ならではの食べ物がある。その美味しさという期待。今回は群馬県の草木湖ドライブインでの昼食がそれであった。到着後、2階の大食堂に案内された。他に団体客はなく、昔ながらのレトロな今風ではない効率優先の味気ないテーブルの並べ方。これもある種の懐かしさを湛えた昭和の場所であった。炊き込みご飯、ほうとう鍋、てんぷらの食事。これも懐かしさいっぱい味であった。

「富弘美術館」では、星野富弘という作家の作品を鑑賞した。絵に詩が添えてあり、そのどちらも見る人に訴えるほのぼのとしたものばかり。その全ては、ある事故で全身麻痺となった作家が、唯一動く「口」に筆をく

大宮支部 荒川 義一

わえ、絵を描き、書を書いたという。これを見て勇気付けられた人がたくさんいたであろう。その後、インバウンドで賑わう日光東照宮を回り、帰路に就いた。旅は先週までの暑さはなく、過ごしやすい快適な一日であった。参加した会員は一様に笑顔で無事大宮へと到着した。

今後、グラウンドゴルフ大会を計画していますので、多くの会員の参加をお待ちしています。



研修バス旅行と区民まつり

ようやく秋の気配を感じ始めたかなと思われる10月20日、前回に引き続き「研修バス旅行」を実施しました。今回「石切山脈と那珂湊グルメ旅」と称した旅です。出発後、車内で「交通安全・正しい自転車の乗り方について」のビデオ研修を行いました。

最初の目的地の「石切山脈」は、日本最大級の採石場で世界でも類を見ない真っ白な御影石が取れるところでした。ここの石（稲田石ともいう）は国会議事堂、最高裁判所、国立代々木競技場や東京駅など日本を代表する建造物に使用されているそうです。専属についたガイドの説明に耳を傾けながら古代遺跡のような景観の石切場に皆さん感動した様子でした。昼食は那珂湊にて、豪華で新鮮な刺身定食を堪能し皆さん大満足の様子でした。食後は海産物などの

与野支部 小林 治夫

お土産を購入し帰路につきました。

11月9日・10日には「中央区区民まつり」が開催され多くの来場者で賑わいました。与野支部からも手芸同好会「芙蓉の会」が出店参加し好評の中、日ごろの活動で製作した手芸品や日用品の販売を行いました。

与野支部では他にも「カラオケ同好会」「ニコニコハイキングクラブ」「グラウンドゴルフ同好会」が元気に仲良く活動をしております。



秋の日帰りバス旅行

岩槻支部みどり会は日帰りバス旅行として、9月21日（土）香取神宮&小江戸佐原市内の旅に行っていました。

岩槻駅西口前を7時30分に出発、江戸崎PAにて休憩し、神崎ICより一般道路にて香取神宮に到着しました。神宮にて記念写真を撮り、各自参拝することになりました。本殿に通じる両側に有志による献灯の列が続いており、見事な木々を眺めながら本殿に到着。本殿前には数名の会員の皆様が祈りをささげておりました。今日一日の会員皆様無事に旅行が終了いたしますよう、また家族の健康を祈念いたしました。

香取市水郷大橋にバスが到着。3班に分かれて船に乗り出発。利根川を渡り、狭い水路を船に乗り潮来十二橋めぐり、川と川の水位を合わせるため水路の中で水面の高さを調整します。菖蒲咲く季節、夏の花火大会、嫁

岩槻支部 中野 孝司

入り舟の時期には多くのお客が訪れるので忙しくなると、船頭さんが笑いながら語っていました。

橋幸夫の潮来笠の歌碑前を通り、下船。バスに乗り昼食場所に到着。遅めのおいしい昼食を堪能しました。これより帰路につき、途中、道の駅さわらで会員の皆様は買い物に没頭し、荷物を抱えてバスに戻ってきました。神崎ICから高速道路に乗り、一路岩槻駅西口に無事予定の時間に到着。皆様お疲れさまでした。



女子会だより

女子会とは、女性会員自らが主体となり交流の場を設け、会員活動を活発化させることで、女性会員の入会促進、仲間づくりなどにつなげるため実施しているものです。

今年度は「女性会員の皆さんにもっとセンター活動に参加し、もっと楽しんでいただき、輝いてもらいたい」そんな思いと、もっと女性会員を増やしたい、女性会員の比率4割！を目指そうとした目標を“女性（J）^{ジェイケイフォー}会員（K）比率4割”の頭文字をとりJK4計画とし、スローガン「もっと輝け♡シルボンヌ ～JK4計画～」を作成しました。

計画第1弾は、初の試みとして女性会員経験交流会を開催しました。センターの女性会員と市内の60歳以上の女性を対象に、第1部は「センターのこと、もっと知りたい!!」と題し、事務局から仕事の提供方法や仕事以外の活動の紹介、先輩会員からは経験談をお話していただきました。第2部ではグループに分かれ茶話会で交流を深めました。



女性会員経験交流研修会
(2024.10.30 浦和コミュニティセンター)

計画第2弾は、令和7年1月(大宮区)と2月(浦和区)に女子会を開催します。

開催要領は本号最終ページの事務局よりのページに掲載しています。

各事務所の女子会開催案内は会員ニュースに合わせて配布いたします。多くのご参加をお待ちしております。



「フラワーアレンジメントで
クリスマスリースを作ろう」
(2024.11.5 大宮事務所)

♡ 令和6年度の開催 ♡

(令和6年10月1日～令和7年3月31日)

令和6年10月30日(水) 13時30分から
女性会員交流研修会

(会場：浦和コミュニティセンター)

<浦和事務所>

令和7年1月30日(木) 13時から

資生堂メイクレッスン

(会場：浦和事務所)

<大宮事務所>

令和6年11月5日(火) 13時から

「フラワーアレンジメントで
クリスマスリースを作ろう」

(会場：大宮事務所)

<与野事務所>

令和7年1月17日(金) 13時30分から

「茶話会&季節の折り紙を楽しむ」

(会場：与野事務所)

<岩槻事務所>

令和7年2月26日(水) 14時ごろから

フェルトバッグ作成

(会場：にぎわい交流館いわつき)

安全だより

令和6年度上半期事故状況は右記のとおりです。前年度と比較して、傷害事故が倍増しています。賠償事故と車両事故はほぼ横ばい、合計は28件で8件増加しました。

往復途上や就業中の転倒事故は、傷害事故全体の半分以上を占めています。また、階段からの転落により死亡に至る重大な事故が発生してしまいました。階段を利用する際は、必ず、「片手を空ける。手すりがある場所では、手すりを利用する」ことを忘れずに昇降しましょう。また、履物の底面が滑りにくい形状の靴を選ぶことも事故防止につながります。

賠償事故は、刈払機の使用に起因する事故が上半期は3件ですが、10月以降にも2件発生しており、増加傾向にあります。ルールを守り注意深く作業してください。

車両事故については、バック時に車体を門扉等に接触させる事故が多発しています。センターの車両を使用するなど、普段乗りなれない車両を扱うときは細心の注意を払いましょう。

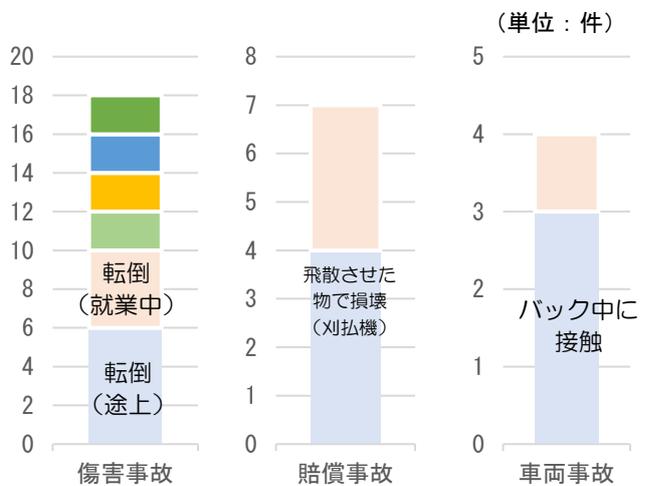
今年度は安全対策の一環として危険予知訓練講習を実施しました。講義をうけた後、演習としてグループに分かれて、提示された危険な状況に対して「どんな危険がひそんでいるか」「どんな対策をすべきか」といったことを検討しました。参加者からはおおむね好評で、今後の就業に活かしていただきたいと思います。

令和6年度上半期事故状況

(令和6年4月1日～9月30日)

(単位：件)

| | 傷害 | 賠償 | 車両 | 合計 |
|-----|----|----|----|----|
| 6年度 | 18 | 6 | 4 | 28 |
| 5年度 | 9 | 8 | 3 | 20 |
| 増減 | +9 | -2 | +1 | +8 |



| 傷害事故 | | 賠償事故 | | 車両事故 | |
|---------|----|----------------|---|---------|---|
| 転倒(途上) | 6 | 飛散させた物で損壊(刈払機) | 3 | バック中に接触 | 3 |
| 転倒(就業中) | 4 | その他 | 3 | その他 | 1 |
| 転落 | 2 | 合計 | 6 | 合計 | 4 |
| 裂傷 | 2 | | | | |
| 打撲 | 2 | | | | |
| 蜂さされ | 2 | | | | |
| 合計 | 18 | | | | |

(単位：件)

令和5年度・令和6年度

さいたま市シルバー人材センター安全スローガン

- ・再確認 だろう・つもりが 事故を呼ぶ
- ・慣れ仕事 緩む気持ち が 事故のもと

事務局より

本部事務所一時移転期間の 終了について

さいたま市シルバー人材センター本部事務所は、入居している大宮ふれあい福祉センターの中規模修繕に伴い一時移転しておりましたが、令和6年12月25日に下記住所へ戻りました。

今後ともよろしく願いいたします。

住 所

〒330-0801

さいたま市大宮区土手町 1-213-1

大宮ふれあい福祉センター 4階

電 話 048-669-0303

F A X 048-669-0305



女子会の開催について

さいたま市シルバー人材センターの全女性会員及び60歳以上の女性市民を対象とした女子会を開催します。開催要領は下記の通りです。

研修後は女性同士のおしゃべり&交流を楽しむ企画となっています。ご興味のある方がいらっしゃいましたら、お友達も誘ってご参加ください。また、男性の会員さんは、奥様にお声がけください。

【日程】

- ① 令和7年1月29日(水) 13:30~15:30
会場・RaiBoC Hall(市民会館おおみや)
レイボックホール
- ② 令和7年2月4日(火) 13:30~15:30
会場・浦和コミュニティセンター
(2日間とも同じ内容です)

【内容】

- ・フレイル予防と健康診断結果のミカタ
～正しい知識で健康増進～
- ・笑顔咲く！健康体操 他

【申込】

さいたま市シルバー人材センター
本部事務所まで 電話 048-669-0303
会員の方は各事務所でも受付します。

編 集 後 記

あけましておめでとうございます。

会員皆様の、地域班・親睦・女子会などの活動が前年からコロナ前の状態に戻ってきたことに大変嬉しく思います。皆様のご尽力により活動報告などの内容も豊富に頂きましたことに心より感謝申し上げます。

しかしながら感染症が収束したわけではありませんので、対策を怠らないよう日々お過ごしください。

会員皆様のご活躍とご健勝を心よりお祈り申しあげます。
(編集委員会)

表 紙

跨線橋駅化した七里駅と 新設された北口

東武アーバンパークライン七里駅が跨線橋駅化され北口が新設されました。従来交通渋滞した踏切を、自動車と一緒に渡っていた歩行者の南北の往来が、駅に併設された自由通路を利用していつでも安全に通行できるようになりました。